

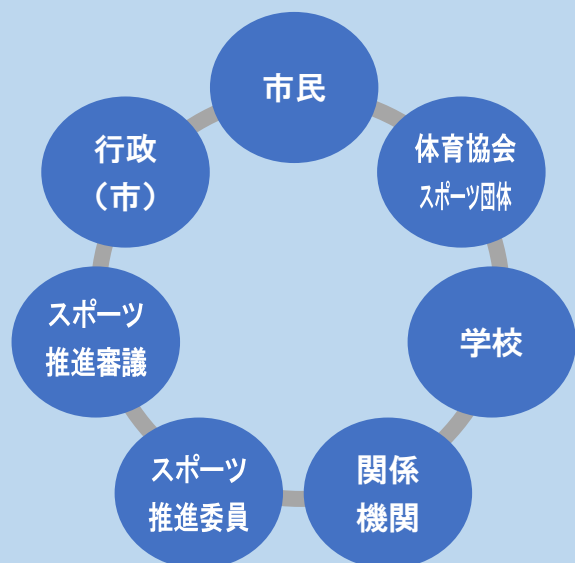
## 計画の目標

本市では、現状値と国や東京都の目標数値を踏まえ、「する」・「みる」・「支える」に関わる目標値を設定し、計画終了年までに達成することを目指します。

指標		現状値	目標値
		令和3年度(2021年)	令和13年度(2031年)
スポーツ実施率	週1日以上の実施率	63.8%	70%以上
	週2日以上の実施率	50.5%	55%以上
	週3日以上の実施率	31.0%	35%以上
スポーツ観戦率	スポーツ観戦率	一流スポーツ等の観戦率 7.6%	30%以上
		地域の大会等の観戦率 17.6%	
スポーツ指導者 養成講習及び スポーツボランティア 実施率	スポーツ指導者 養成講習 受講者数	25名/年 (平成24年から令和2 年までの9年間平均は 約93人)	100人以上/年
	スポーツボランティア 実施率	10.9%	

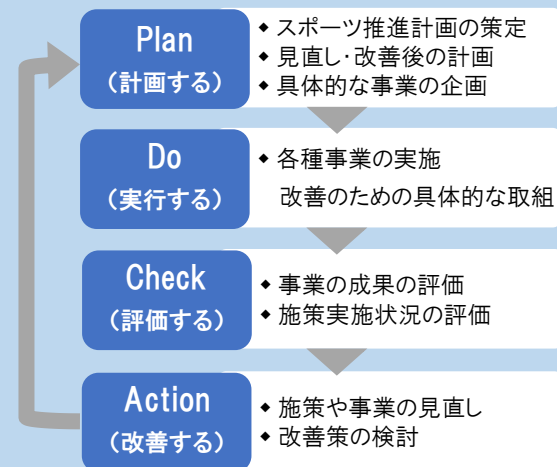
## 計画の推進体制

計画を推進するためには、市民、体育協会・スポーツ団体、行政(市)等が互いの役割を理解し、連携しながら取り組む必要があります。



## 計画の評価

市のスポーツ施策の推進には、各施策展開について、実効性を確保するための進行管理を行う必要があります。各施策に関して、「計画(Plan)」「実行(Do)」「点検・評価(Check)」「見直し(Action)」のPDCAサイクルを繰り返し行うことで、取組の実効性を確保します。



# 福生市スポーツ推進計画(改定) 概要版(案)

## 計画の背景

福生市は、平成29年度から令和3年度までの5年間を計画期間とした「福生市スポーツ推進計画2012(修正後期)」を策定し、市民のスポーツ・運動の取組を体系的に推進しています。

計画期間の終了時点である令和3年度は、福生市のスポーツ推進に関わる各種統計データや福生市のスポーツを取り巻く現状と課題を踏まえ、計画の見直しを行うこととします。

## 本計画におけるスポーツ

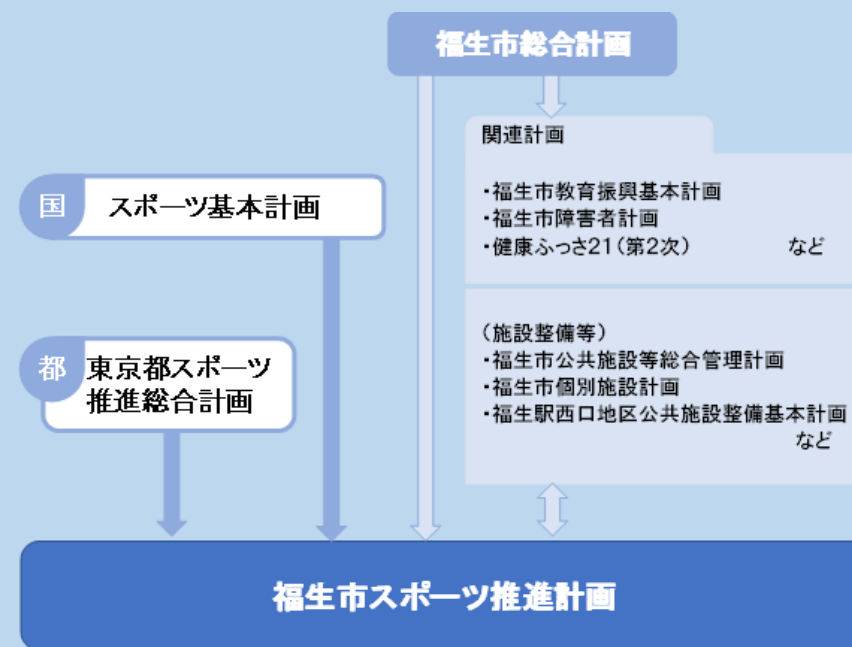
スポーツは個人の喜びや健康維持につながるだけでなく、地域の人々との交流やふれあいなどから、地域の活力やまちづくりにも資する役割も期待されています。

本計画におけるスポーツとは、「レクリエーション活動・遊びを含め、自らの意思で行う身体的活動全般」と捉えることとします。野球やサッカー等の競技スポーツ種目だけでなく、公園や広場、校庭での遊びや体操(健康を意識した散歩や体操を含む。)やダンス、アウトドアスポーツ、サイクリング等も含まれます。

## 計画の位置付け

本計画は、令和2年に策定された福生市総合計画(第5期)の分野別計画として位置づけられる「スポーツの推進に関する基本的な計画」です。

また、「福生市教育振興基本計画」「福生市障害者計画」などの関連計画や、「福生市公共施設等総合管理計画」「福生駅西口地区公共施設整備基本計画」などの施設整備関連計画との整合性を図ります。特に、健康づくりに関わる施策については、「健康ふっさ21(第2次)」と十分な連携を図るものとします。



## 計画の期間

本計画は、令和4年度から令和13年度を目標年度とする10年間とし、令和4年度から令和8年度までを前期計画、令和9年度から令和13年度までを後期計画とします。

福生市スポーツ推進計画 概要版(案) 令和3年11月

発行：福生市教育委員会教育部 スポーツ推進課 スポーツ推進係

〒197-0005 東京都福生市北田園2-9-1 中央体育館内 電話：042-552-5511

## 福生市のスポーツを取り巻く現状と課題

### (1) スポーツの参加に関する課題

スポーツを「する」と「みる」ことは、スポーツの楽しさを経験する入口となりやすく、スポーツに親しむ市民を増やすためには重要な活動です。市民のスポーツに対する関心や興味を高め、継続的に親しむ意識を定着させることが必要です。

- 働き盛り世代や子育て世代が身近にスポーツに取り組むことができる環境づくりが必要です。
- 子どもの頃から継続的に親しむことができるよう取り組むことが必要です。
- 市民が参加する身近な試合からプロスポーツの大会なども含め、様々なスポーツに親しめる機会を増やしていくことが必要です。
- 障害者が日常的にスポーツに親しむことができるように、施設、指導者、機会の充実などの支援に加え、市民の理解を合わせて推進していくことが必要です。
- 福生市は総人口に占める外国人の割合が多く、外国人がスポーツに親しむためには、多言語化などの情報発信の工夫が必要です。

### (2) スポーツ活動を支える人材と団体の課題

これまで築いてきたスポーツ環境を維持し、より強固なものにするためにも、新たな担い手の発掘・育成と既存の担い手が安定的に活動できる体制づくりが必要です。

- スポーツ指導者に求める資質としてスポーツの楽しみ方や楽しさを教えてくれる人が求められています。
- スポーツボランティアを増やすための環境として、気軽に参加できる機会の充実が必要です。
- 市内で活動する団体等を支援するとともに、団体同士の連携をさらに強化することが必要です。

### (3) スポーツ実施の場の課題

スポーツ施設の整備について、本市のスポーツ施設が老朽化する中、その有効活用と機能維持が求められる一方で、福生駅西口地区にスポーツも含む複合型公共施設の整備計画が策定されるなど、市民がスポーツに親しめる環境に変化が起きつつあります。

- 市立スポーツ施設の機能の整備・充実や利用のしやすさの向上が求められています。市民のスポーツ活動の機会を促す場として、適切に管理・運営していくことが重要です。
- 福生駅西口駅前に整備される予定の公共施設は、「する」「みる」といったスポーツ・アクティビティ機能が期待されます。

### (4) スポーツを通じた地域の活性化の課題

新型コロナウイルス感染症の影響や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を受けて、人と人との交流を促し、地域の一体感や活力を醸成するスポーツの意義が再確認され、新しいスポーツのあり方や楽しみ方が注目されています。

- 市のスポーツや運動に関する情報として、日常的にスポーツに取り組むためのニーズが多く、様々な情報媒体による効果的な発信が求められています。
- 地域の特性や地域資源を生かし、多くの市民が参加できるイベントを通してスポーツへの参加を促していく取組が必要です。
- オンラインによるスポーツ・運動の実施について、デジタルデバイド対策も合わせて取り組むことが必要です。

## 基本理念

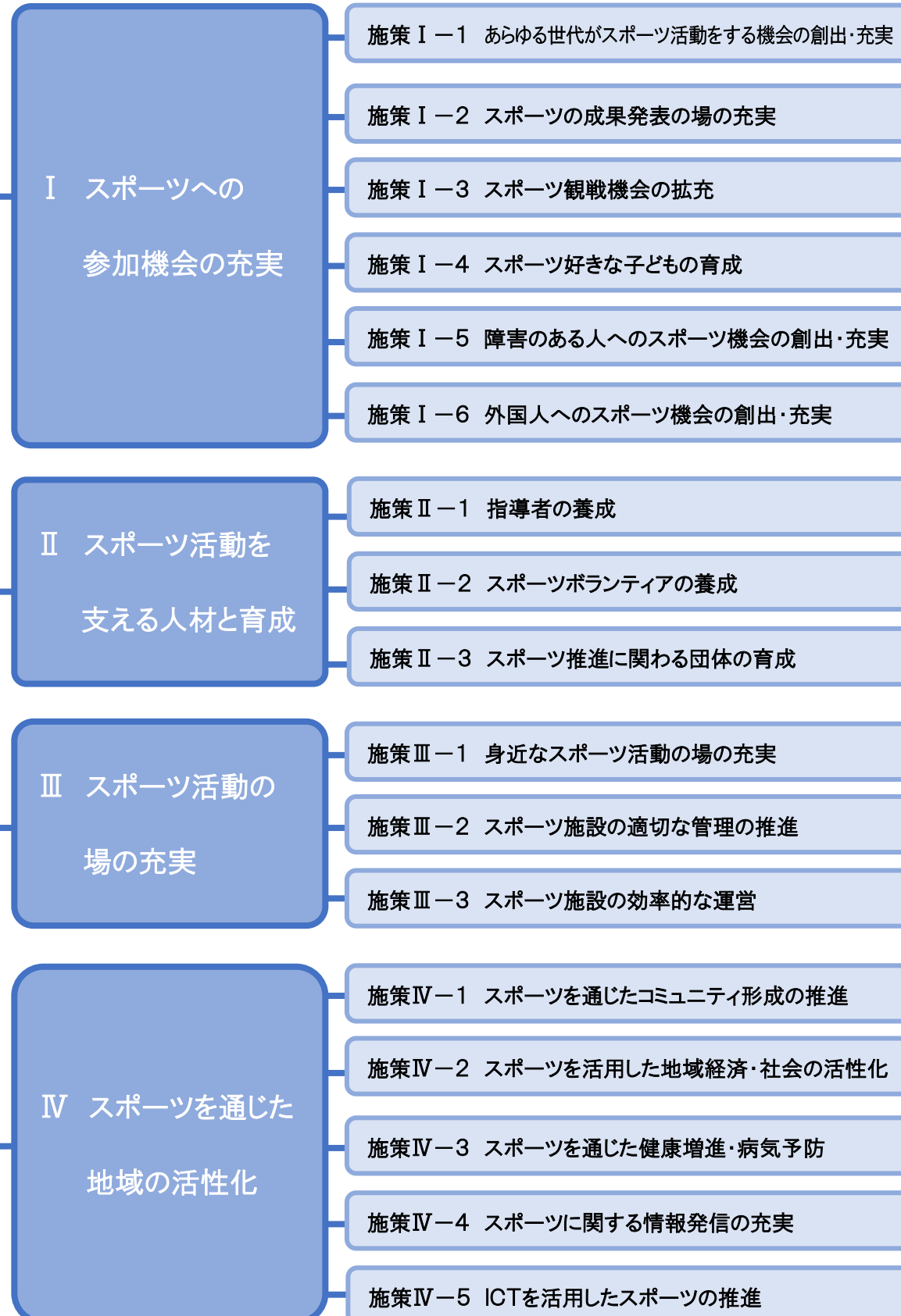
あらゆる人が気軽に、安全に、安心してスポーツに触れ、魅力を知ることができる機会の拡充と、スポーツを通じて元気で健康なまちづくりの実現を目指します。

将来像

指針

施策

スポーツが  
つなぐ  
笑顔と健康、  
未来を築く  
まち  
ふっさ



## 計画改定のポイント (主な取組と施策例)

①世代や障害の有無、国籍に関わらず、誰もが気軽にスポーツに親しみ継続的に活動できる取組の推進

施策 I-1  
あらゆる世代がスポーツ活動をする機会の創出・充実

②身近な場で観戦の機会を提供する取組の推進

施策 I-3  
スポーツ観戦機会の拡充

③市民のスポーツ活動を支える新たな担い手の発掘・育成と既存の担い手が活躍しやすい環境づくりに寄与する取組の推進

施策 II-1  
指導者の養成

施策 II-2  
スポーツボランティアの養成

④市民のスポーツ活動の場の確保とスポーツ施設等の利用促進

施策 III-1  
身近なスポーツ活動の場の充実

⑤新型コロナウイルス感染症の影響下における新しいスポーツのあり方に対応した取組の推進

施策 IV-2  
スポーツを活用した地域経済・社会の活性化